

スポーツの日



体育の日からスポーツの日へ

「体育の日」が「スポーツの日」へと名称が変更された理由は、日本の社会や文化の変化を反映し、現代の多様な価値観に適合させるためです。以下に詳しく説明したいと思います。

1. 「体育」から「スポーツ」への表現の変化

- 「体育」という言葉は、身体を鍛える教育的な側面を強調するニュアンスがあり、学校教育や義務的な運動を連想させます。一方、「スポーツ」は広い意味を持ち、楽しみや競技、レクリエーションなど、運動そのものを楽しむ文化な要素も含んでいます。近年、スポーツが「健康促進」だけでなく「楽しみ」や「交流」を重視する活動として認識されようになったことが背景にあります。

2. 2020年東京オリンピック・パラリンピックとの関連

- 日本政府は2020年のオリンピック・パラリンピックを機に、スポーツへの関心を高め、スポーツの文化的意識を広く社会に浸透させたいと考えました。「スポーツの日」という名称の方が、オリンピック・パラリンピック精神や国際的なスポーツ文化に合致していると判断されました。

3. 法律の改正

- 2018年6月、国民の祝日に関する法律が改正され、「体育の日」は「スポーツの日」に名称変更されることが決定されました。この変更は2020年から施行され、当初は東京オリンピック・パラリンピックの開催に合わせて「7月24日」に移動されましたが、その後再び10月の祝日として固定されました。



4. 多様性とインクルージョンの促進

- スポーツが性別、年齢、障害の有無に関係なく、だれもが楽しめる活動であることを強調し、社会全体でスポーツに親しむ文化を作る狙いもあります。



このように、単なる名称変更ではなく、現代のスポーツに対する考え方や価値観の変化を反映した動きとして進められました。